

安全の手引き

平成31年1月

在ロシア日本国総領事館

はじめに

当地の治安状況は改善の兆しが見られず、都市別の人口10万人あたりの殺人事件の発生率も55件とブラジル全土で常に上位となっています。特に、拳銃を使用した短時間強盗が多発しており、近年犯罪の手口も凶悪化しています。「自分の安全は自分で守る」を実践し、渡航・滞在の目的に合わせた情報収集や安全対策に努めて下さい。

中南米、特にブラジルでは拳銃を使用した犯罪が多く、一歩間違えれば命を落としてしまう危険があります。日本で生活していれば、想像もつかないことがありますので、普段の生活において、如何に犯罪に遭遇するリスクを抑えるよう行動するかを念頭におくことが重要です。海外での他人任せの安全は、非常に危険な考えです。

今般、皆様が当地にて、より安全な生活を送られるための一助となるように、留意事項をまとめた「安全の手引き」を改訂しました。お気づきの点等ありましたら、ご意見等お聞かせ下さい。

在レシフェ日本国総領事館

電話:(81)3207-0190(代表)

住所:Rua Padre Carapuceiro733,14andar EDF:Empresarial Center |

Boa Viagem,51020-280 Recife PE

ホームページアドレス:www.recife.br.emb-japan.go.jp

目次

1. 基本的な心構え
2. 当地の治安情勢
 - (1)レシフェ(ペルナンブコ州)における犯罪発生状況
 - (2)サルバドール(バイア州)における犯罪発生状況
 - (3)2018年にレシフェ市で発生した主な事件
3. 日常生活における犯罪被害のケース
 - (1)外出時
 - (2)車両(自動車等)の利用時
 - (3)公共交通機関(バス・メトロ等)の利用時
 - (4)ショッピングセンターや銀行等を利用時
 - (5)自宅関係
 - (6)被害に遭ってしまった場合
4. 緊急事態対処
 - (1)平素の準備
 - (2)緊急時の行動
 - (3)緊急事態に備えてのチェックリスト
5. 交通事情
 - (1)道路事情
 - (2)運転事情
6. その他

1. 基本的な心構え

海外生活では、色々な点で日本国内とは異なります。特に日本は、ここブラジルと比べ犯罪が少なく治安の良い国です。そのため、日本に滞在している感覚そのまま、当地で生活をしますと犯罪に巻き込まれる可能性が非常に高くなります。日本の電車内では通勤や通学途中に居眠りや仮眠をとったり、雑誌を読みふけていたり、まるで自身の家の中と変わらないくらいリラックスした人をよく見かけますが、当地ではこのような光景はありません。基本的に、日本人は「自分の安全は自分で守る」という犯罪に対する意識が非常に低く、安全に対して他人任せになってしまいます。「自分に限っては大丈夫だろう」「自分は被害者にならない」と思い、どうしても最悪の事態を想定した考えに至らない傾向があります。

普段の生活において如何に犯罪に遭遇するリスクを抑えるかを念頭におき、犯罪に巻き込まれる確率を減らす行動が必要不可欠になってきます。

(1) 常に警戒心をもって行動する

普段の生活において、可能な限り用心・警戒を怠らないようにして下さい。警戒を継続することは大変困難で、息苦しいと感じることもありますが、外出される際は特に周囲の警戒を継続して下さい。

(2) 目立たない服装・行動をとる

派手な服装や高価なネックレス・腕時計等をして歩いたり、周囲を警戒せずカメラ撮影をすると当然目立ちます。元々当地では東洋人が少なく、目立たないように意識していても目を引きます。目立つということは、犯罪者から見て格好のターゲットにされてしまう可能性が非常に高くなります。可能な限り周囲に馴染んだ服装や行動を心掛け、高価なネックレスや腕時計等の装飾品は控えて下さい。

(3) 行動のパターン化を避ける

通勤・通学の際のルートを一つに限定しないよう心掛けて下さい。毎日決まった道を歩かず、ルートを変更してみたり、時間帯を少しずらしてみる等工夫して下さい。犯罪者のターゲットになる確率を少しでも下げることにつながります。

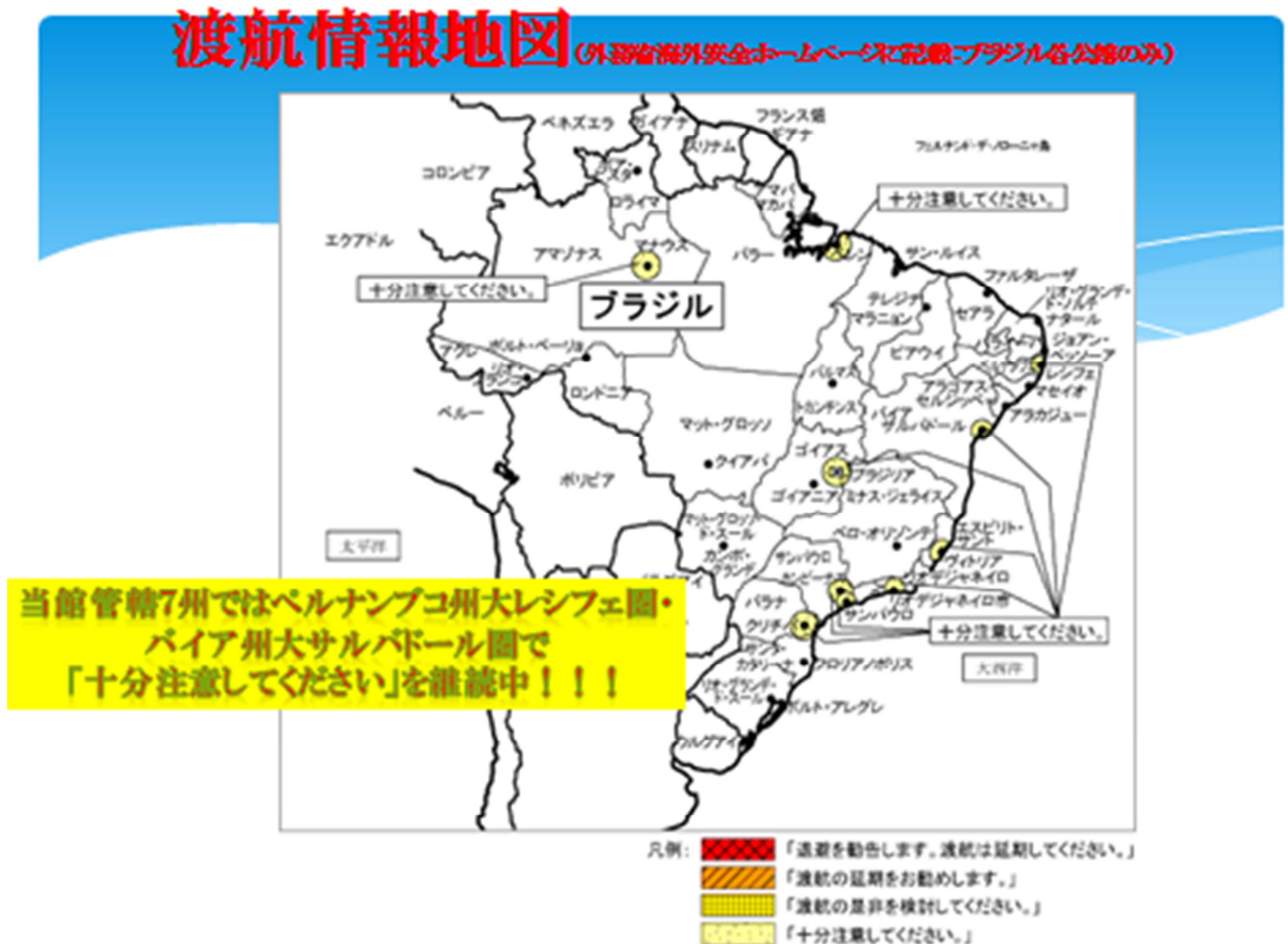
(4) 絶対に抵抗しない

強盗に遭遇した場合は、絶対に抵抗しないで下さい。犯人の顔を見ずに犯人の要求に素直に従い、その場を凌ぐことが重要です。当地では拳銃を使用した犯罪が多発しているため、犯人に抵抗することにより、最悪の事態を招くことが多々あります。難しいことではありますが、犯罪に巻き込まれた際は、焦らず冷静な対応を心掛けて下さい。

2. 当地の治安情勢

当地では、拳銃を使用した殺人や強盗等の凶悪犯罪が多発しています。犯罪手口も凶悪化しており、貧しい人々が住むスラム街(ファベレーラ)が市内に点在しており、違法薬物の売買や強盗などの犯罪の温床となっています。人通りの多い商業地区でも警察と強盗集団の銃撃戦が昼夜問わず発生しており、流れ弾で多くの市民が死傷しています。観光地でも、観光客を狙った拳銃、ナイフ等を用いた強盗事件が発生しています。

外務省では、それぞれの国・地域の情勢に応じ、4段階の危険レベルを設定しています。当館管轄の大レシフェ圏と大サルバドール圏では「レベル1:十分注意してください」を継続しています。その国・地域への渡航、滞在に当たり危険を避けて頂くため、特別な注意が必要となります。



(1) レシフェ(ペルナンブコ州)における犯罪発生状況

(ア) レシフェ大都市圏

| | 2016年 | 2017年 |
|----|---------|----------------|
| 殺人 | 1,887件 | 2,364件(25%増) |
| 強盗 | 77,368件 | 76,693件(0.9%減) |
| 強姦 | 1,141件 | 1,067件(6.5%減) |

(イ) ペルナンブコ州全体

| | 2016年 | 2017年 |
|----|----------|---------------|
| 殺人 | 4,479件 | 5,426件(21%増) |
| 強盗 | 114,802件 | 119,809件(4%増) |
| 強姦 | 2,312件 | 2,178件(5.8%減) |

ペルナンブコ州社会防衛局の発表によりますと、2017年も殺人及び強盗の件数は増加傾向にあり、市内では依然として拳銃を使用した凶悪犯罪が後を絶ちません。殺人発生率の高さは、主に麻薬取引とアルコール依存症に関連する犯罪が原因ですが、拳銃を使用した犯罪が多く、銃撃戦に発展する場合があります。住民・通行人が流れ弾に巻き込まれるケースが多々あります。強姦件数については、若干の改善傾向が見受けられますが、日本とは比較にならない程の高い数値であり、ブラジル北東部の特色とも言えます。犯罪が発生する時間帯も、必ずしも夜間とは限らず、白昼に当地では比較的治安が良いとされていた海岸通りでの、拳銃による殺人事件の発生や、当館に隣接しているショッピングセンターでも現金輸送車が襲撃される事件が発生しています。

また、当地ではスラム街(ファベラ)が市内に点在しており、高層マンションやビル街の谷間にバラック小屋がひしめき合うという光景も珍しくありません。それら周辺地域では麻薬の売買・強盗・スリ等の被害が頻発していますので、興味本位で絶対に近づかないで下さい。建物の造りや状態、街の雰囲気、明らかに他と違いますので、万一、迷い込んでしまった場合は、速やかにその場から立ち去るようして下さい。

(2)サルバドール(パイア州)における犯罪発生状況

(ア)サルバドール大都市圏

| | 2016年 | 2017年 |
|------|--------|---------------|
| 殺人 | 2,158件 | 2,193件(1.6%増) |
| バス強盗 | 3,012件 | 2,888件(4.2%減) |
| 車両強盗 | 8,279件 | 7,770件(6.2%減) |
| 強姦 | 630件 | 761件(20%増) |

ブラジル国内でも有数の観光地であるサルバドール市には、国内外から多くの観光客が集まり、邦人も年間約2,500人が訪れています。同地では観光客の移動手段であるバスを標的にしたバス強盗事件が多く、2017年は月平均270件のバス強盗事件が発生しています。また、今年には邦人家族がバス強盗事件の被害に遭遇しています。幸いにして、身体に危害を加えられることはありませんでしたが、一歩間違えれば大惨事になっていた感は否めません。殺人事件や強盗事件等の件数は、前年とほぼ同一水準であり、治安改善の兆しは残念ながら見られません。

ブラジルではこれまでに、国際テロ組織によるテロの直接的な標的にされたことはありません。また当地の治安当局によれば、国内にテロ組織そのものが存在しないと言われており、在留邦人がテロに巻き込まれる可能性は低いと言えますが、日頃より最新の情報を入手することに努め、状況に応じて適切な安全対策を講じる必要があります。

誘拐事件については、ブラジル国内において短時間誘拐(被害者を拘束し、キャッシュカード等で現金を引き出させた時点で解放する)が多発しています。行動パターンに変化をつける等、日々の行動を定型化しないように心掛けて下さい。

(3)2018年にレシフェ市で発生した主な事件

(ア)1月11日(木)午後10時30頃、レシフェ市ボンジ地区マノエル・ゴンサルベス通りで2人組の強盗が薬局店に押し入ったところ、警備員と銃撃戦となり、付近を通りかかった歩行者3名が流れ弾に当たりました。被害者3名はそれぞれ別の病院に運ばれましたが、1人が胸部に弾丸を受けて重体となりました。犯人の手掛かりは不明です。

(イ)1月24日(水)午後、レシフェ市ピーナ地区サンルイス街で銃撃戦が発生しました。近所に住む女性(34歳)が左上腕に流れ弾を受けて負傷し、救急病院に運ばれました。

(ウ)3月10日(土)午後、レシフェ市タマリネイラ地区ネトデメンドンサ街の高層マンション下の歩道で、オートバイに乗った2人組が通行人の女性からハンドバックを奪って逃走しました。

(エ)3月15日(水)午後3時頃、レシフェ市アフリット地区シャビエールマルケス街の高級マンションの7階に銃弾1発が撃ち込まれました。

(オ)5月1日(日)午後3時頃、レシフェ市ボア・ピアージェン海岸地区において拳銃による殺人事件が発生しました。オートバイで乗り付けた2人組のうち1人が、拳銃で砂浜にいた44歳の車椅子の男性に向けて背後から発砲し、頭部に3発の銃弾が命中しました。被害者は病院に運ばれる前に現場で死亡し、犯人は逃走しました。

(カ)6月8日(金)午前9時頃、レシフェ市ボア・ピアージェン地区のショッピングセンター・レシフェの駐車場にて現金補填に来た現金輸送車が襲撃される事件が発生しました。覆面と防弾チョッキを着用し、軽機関銃等で武装した4人組の強盗が突如襲い、現金を強奪しました。犯人は現金輸送車の乗員及び同ショッピングセンターの警備員から拳銃を奪い取り、同日早朝にイブセッピ地区の路上で奪ったトラックで逃走しました。

(キ)7月19日午後12時30分頃、レシフェ市ピーナ地区の海岸にある飲食店で食事の男性客(28歳)が何者かに拳銃で射殺されました。被害者は銃刀法違反により保釈中の身分でした。

(ク)8月27日午後6時頃、レシフェ市デルビ地区とカマラジベ市(レシフェ市西隣)を結ぶ路線バスがレシフェ市カシャンガ通りバルゼア地区の停留所に停車中、拳銃と刃物を持った2人組が乗り込んできて乗客の金品を奪い始めたところ、乗客の1人が犯人らに向けて

拳銃を発砲しました。犯人の1人(17歳)が撃たれて救急車で病院に運ばれました。拳銃を撃った乗客はそのまま行方をくらしました。

(ケ)9月30日午前11時頃、子供連れの夫婦がレシフェ港岸壁と船舶の通る水路を挟んだ対岸に位置する公園で、突然現れた2人組の男に拳銃で脅され自転車と携帯電話を強要されました。夫人は自転車を犯人らに渡しましたが、携帯電話を持っていなかったため腕時計を差し出しました。犯人の1人が気を荒立て地面に時計を叩きつけて壊しました。その際、夫(27歳)は妻を庇おうとして、持ち物を全て渡すから気を静めるように頼んだところ、犯人の1人に胸部を撃たれました。犯人らは自転車2台と携帯電話1台を奪って逃走しました。被害者は事件現場に居た釣り人らにより救急病院に運ばれる途中で死亡しました。目撃者によれば被害者は犯人に抵抗する兆しすら見せなかったとのこと。同日午後、犯人らは犯行現場に近いブラジリア・テイモーザ地区にある民家に隠れていたところを軍警に逮捕され、連行先の文民警察署で目撃者の証言もあり犯行を認めました。なお、犯人らはブラジリア・テイモーザ地区の麻薬密売グループの構成員であり、同グループは3件の殺人事件に関与しているとのこと。

(コ)11月8日午後8時30分頃、レシフェ市ピーナ地区の砂浜で26歳の男性が2人組の強盗に現金800リアルを奪われ、腕時計も盗られそうになったので抵抗したところ、刃物で刺された上に拳銃で撃たれ、救急車で救急病院に運ばれ手当を受けました。

(サ)12月15日午前8時30分頃、レシフェ市サンジョゼ地区アントニオヘンリケ街の商店に2人組の拳銃強盗が押し入りました。隣の商店の店員が異変に気がつき警察に通報し、軍警察のパトロール班が現場に駆けつけたところ、犯人らは店主と従業員を人質にとり、店内に立て籠もりました。なお、軍警察の説得が功を奏し、犯人らは人質を解放し逮捕されました。また、犯人らは38口径の拳銃を2丁所持していたとのこと。

(シ)12月25日午後3時頃、レシフェ市テジピオ地区サルジェントジュベンシオ街で、家族と共に友人宅のクリスマスパーティーに招待された文民警察の麻薬捜査官が、友人宅の近くで乗ってきた自家用車から降りたところ、付近に停車中の車両から出てきた男にいきなり発砲されました。捜査官は咄嗟に腰の拳銃を抜き反撃し、男は右大腿部を撃たれ逃げようとしたが路上に倒れ、救急病院へ運ばれるも出血多量で死亡しました。なお、同捜査官とその家族には被害はありませんでした。

3. 日常生活における犯罪被害のケース

(1) 外出時

ケース①

(ア)信号待ちやバス(バスは強盗等の犯罪に巻き込まれる可能性が非常に高いため、当館としては利用を控えるよう案内しています)を待っている間に、後ろからバッグをナイフ等で切られ、中身をスラれる。或いは何気なく近づいてきた子供に所持品をひたたくられる事件が多発しています。特に一人歩きの女性や老人に加え、我々日本人はどうしても目立つことから狙われやすく、ネックレス等の装飾品を強奪される事件が多発しています。

(イ)突然、背後から後頭部を殴打されたり、タックルで押し倒され、ひるんだ隙に所持品を奪われる事件が多発しています(複数犯によるグループ犯行が多い)。

(ウ)突然、数人の男や少年等に囲まれ、拳銃やナイフで脅され所持品を奪われる事件が多発しております。

(エ)背後からバイクで近づき、バッグやネックレスをひたたく事件が多発しております(バイクの場合も一人ではなく複数での犯行が多い)。

対策①

外出時は、所持品の携行には細心の注意が必要です。地元住民が、ハンドバッグをたすき掛けにする、リュックサックを背負うのではなく胸の前で抱えている姿をよく見かけますが、こういった行動は、ひたつきの被害を少しでも避けることが目的です。同様に財布やスマートフォンをお尻のポケットに入れないことも、強盗やスリから身を守る方法の一つです。

一目で高価な物とわかるネックレスや腕時計等の装飾品や華やかな装いは、ターゲットを物色している者から目を引きやすくなります。服装全般に気を配り、目立つ服装で街頭を歩かないよう、また周囲と同化するような服装を心掛けて下さい。

スマートフォン等の携帯電話やタブレット型端末機を狙う強盗が全国で多発していますので、人通りの少ない場所や夜間の路上での使用時は、特に周囲を警戒するよう心掛けて下さい。

ケース②

ひたつきの被害に遭い、逃走する犯人を追いかけようとする、拳銃やナイフを所持した仲間が立ちはだかり、進路の妨害を図るばかりでなく、攻撃してくることもある。

対策②

絶対に抵抗しないで下さい。悔しい気持ちを抑え、逃走する犯人を追いかけるようなことは絶対にせず、冷静な行動を心掛けて下さい。ひたつきと言えども犯人は単独行動をすることは稀です。必ず周囲に見張り役の仲間が潜んでいます。抵抗する者に対しては、容赦なく拳銃やナイフで攻撃してきます。犯人も必死なので、抵抗することにより犯人が逆上し、

最悪の事態に至るケースもよくあります。

ケース③

知らない人に気軽な口調で呼び止められ、時間を尋ねられて腕時計で時間を確認している間にひたたくりに遭う。または、そうした隙に乗じて、拳銃やナイフを突きつけられ所持品を奪われる。

対策③

人の親切心を利用した犯行の手口です。本当に親切心で話し掛けてくれる人との違いを見分けることは難しいですが、見知らぬ人には簡単に気を許さないように心掛けて下さい。不用意に話しかけてくる人には、十分な間合いを保ち、目を離さないことが重要です。特に日本人は、話しかけられると、つい親切に対応してしまいがちなので注意して下さい。

ポイント

- ① 不審者がいないか、後ろを尾行されていないか常に周囲を警戒する。
- ② 進行方向へ進む前に、進行方向とは逆を振り返る等、警戒心を顕示する。
- ③ 人通りが少なく、暗い道は通らない。
- ④ 外出の際は、高価な装飾品や腕時計は極力身につけないようにする。
- ⑤ 必要以上の現金は持ち歩かない。
- ⑥ 現金は分散し所持する。
- ⑦ 身分証明書や現金、カード類を別々に所持する。
- ⑧ スマートフォン等の携帯電話やカメラは目立たないように所持し、使用する際も周囲の状況をよく確認する。

(2)車両(自動車等)の利用時

ケース①

駐車中の車両内からバッグ等の荷物やカーステレオを盗まれる場合や車両そのものが盗難される事件も多発しています。

対策①

路上駐車が可能な場合であっても、周囲の状況と時間帯を考える必要があります。監視員のいる有料駐車場が近くがあれば、必ずそちらを利用して下さい。

また、車両に盗難防止装置を設置し盗難に備えることも重要です。一般的には、自動車のハンドルを固定する錠や、三角窓のこじ開け防止用の補強器具等があります。正しい鍵を使わなければクラクションが鳴動する警報装置や、燃料が流れなくなる仕組み等、新たな防犯装置が発売されていますので、これらを備えておくと効果的です。

普段から、貴重品やバッグ等はトランクに入れ、車外から見える場所には決して置かない

ように心掛けて下さい。

ケース②

信号待ちで停車中に、開けていた窓から手を入れられたり、窓ガラスを割って強引に時計やネックレスをおしり盗られる事件が多発しています。

また、停車中に犯人が数人で近寄り、拳銃やナイフを突きつけ、金品や車両を強奪されることもあります。

対策②

不用意に窓を開けていると、このような被害に遭います。停車中は窓を閉める、または手が入らない程度に小さく開ける等、注意を怠らないようにして下さい。手を入れられネックレスをおしり盗られた場合は、首にひどい怪我を負う可能性もありますので注意して下さい。

また、怪しい人物が近づいてくる場合に備え、信号待ちで停車した際は、前方車両との距離を少し広め、常に周囲に気を配り、いつでも車両を発進出来るよう心掛けて下さい。

ケース③

車両を走行中に、併走する車両や付近の人が車両の故障を教えてくれたため、確認しようと車外に出たところを襲われる。逆に路上で車両の故障により困っている人がいたため、車を停車し、声をかけたところを襲われる。

対策③

親切そうに振る舞って油断させたり、相手の親切心を利用した手口です。ブラジル人は親切で正直な人も多く、実際に故障を教えてくれたり、修理を手伝ってくれる場合もありますが、相手が見知らぬ人である限り、油断せず警戒心を持って対応するように心掛けて下さい。

ケース④

駐車中に、車両のタイヤをパンクさせられ、タイヤの交換をしていると襲われる。また、走り出してからパンクに気付いた場合でも、尾行され車外に出たところを狙って襲われることがある。

対策④

パンクを見つけた場合は、周囲の状況を確認し、可能な限り人通りの多い場所やガソリンスタンド等の適当な場所へ移動してから、タイヤ交換を行うようにして下さい。また、修理を依頼し、待機している際も、周囲の警戒を怠らず、要すればビルやレストランなど比較的安全な場所へ移動し待機するようにして下さい。強盗だけでなく、誘拐の危険性もありますので、決して車内で待機することがないように注意して下さい。

ポイント

- ① 外から見える場所にはバッグ等を置かない。
- ② 乗降時は必ず周囲に不審者や不審車両がないか確認する。
- ③ 走行中にパンクした場合は、その場には止まらず、ガソリンスタンド等比較的安全な場所へ移動する。
- ④ 必ずドアロックをし、窓は閉めた状態にする。
- ⑤ 信号等で停車する場合は、早めにブレーキをかけ、ゆっくり進み、極力停車時間を短くする。
- ⑥ 駐車場を必ず利用する。

(3) 公共交通機関(バス・メトロ等)の利用時

ケース①

混雑した路線バスやメトロ内でのスリ。バスやメトロの乗車口付近に立っていたら、扉の開閉時の一瞬の隙にハンドバッグをひたたくられる。

対策①

歩行中と同様に常に周囲を警戒する必要があります。日本の通勤電車のように、居眠りをしたり、雑誌を読みふけていると、隙が生まれますので注意して下さい。また、車両内での立ち位置は、乗車口付近は避けた方が無難です。

ケース②

バスに乗車中に武装強盗(多くは複数)が乗り込んできて、所持品を巻き上げられる。

対策②

バスの中での強盗事件は、日本では考えられませんが、残念ながらブラジルでは頻繁に発生します。万一、強盗に遭遇してしまった際は、周囲の状況を冷静に判断し、命の安全を最優先にした行動が必要です。反撃に出たり、逃走を試みたりすることは、最悪の事態を招く恐れがありますので、決して抵抗しないで下さい。

また、当地では犯人以外の第三者(同乗者)も拳銃を所持している場合があります。犯人と第三者との間で銃撃戦に発展することもあります。流れ弾を避けるため、また不要なターゲットとならないよう、身をかがめ体勢を低くし、周囲の状況を冷静に把握するように努めて下さい。

ケース③

タクシー利用時に、降車後に料金を渡そうとしたら、ひたたくりに金品を奪われる。

対策③

料金の精算や現金の受け渡しは車内で行うことが大原則です。また、必ず周囲の安全を確認した上で降車して下さい。

ポイント

- ① 流しのタクシーは利用せず、電話やアプリで呼び出すか、ホテルやショッピングセンターに待機しているタクシーを利用する。
- ② 路線バスやメロの利用は極力避ける。
- ③ 万一、路線バス等を利用した場合は、スリやひったくりに十分注意をする。
- ④ タクシー利用時の料金の精算や現金の受け渡しは必ず車内で行う。
- ⑤ 乗降時は必ず周囲に不審者や不審車両がないか確認する。

(4)ショッピングセンターや銀行等を利用時

ケース①

店員の不親切な対応や、会計の長い待ち時間で注意力が散漫になっている隙に財布等をスラれる。

対策①

当地の接客では、日本のような丁寧さやサービス精神は全くありません。不慣れな内は、こうした些細な日常の場面で、イライラしたり、気がちったりすることがありますが、安全への配慮は怠らず、周囲の警戒を忘れないよう心掛けて下さい。

ケース②

銀行(ATMを含む)から出たところで、ひったくりや強盗に遭遇する。

対策②

銀行で多額の現金をおろした利用客の跡をつけ、人通りの少ない場所で現金を奪う手口があります。複数犯の犯行では、狙った利用客の背中に気付かれないようにシール等を貼り、外で待ち構える仲間の目印にするパターンもあります。外部から見通せない造りの店舗でも、このような手口がありますので、常に周囲を警戒して行動して下さい。第三者から見えるような状態で多額の現金を引き出したり、派手な買い物をすることは、当然ながら被害者になるリスクを高めますので、十分注意して下さい。

また、ATM機を利用時に、偽のATM操作パネルが取り付けであったり、カードやパスワードの読み取り機器(スキミング手口)が取り付けられていることがあります。周囲に不自然な人物が居ないか、またATM機に違和感を感じたら、他の店舗や他のATM機を利用するようにして下さい。

なお、銀行に限ったことではありませんが、銀行やショッピングセンター等を利用した際は、強盗に遭遇した場合を想定し、身を隠す場所や避難経路を予め確認するようにして下さい。ただし、強盗に遭遇した場合は、絶対に抵抗せず、目立たないようにすることが重要です。

ポイント

- ① 利用する曜日や時間帯をパターン化しない。
- ② 多額の現金を一度に引き出さない。
- ③ 入店前から周囲に不審者・不審物がないか注意する。
- ④ ATM機を操作する際は、周囲に見られないように注意する。
- ⑤ スキミング被害に備え、ATM機に不審な点がないか確認する。
- ⑥ 緊急事態に備え、店舗の避難経路等を予め確認する。

(5) 自宅関係

ケース①

留守中の空き巣による窃盗が発生しています。

対策①

常に戸締まりに注意することは当然ですが、一戸建て、アパートの何れも、地上階以外の窓も空き巣の侵入口になる可能性があります。これらの窓に格子を設置する等の補強対策を検討して下さい。警備会社と契約し、警備機器を設置することも、被害の未然防犯・拡大防止に有効な手段と言えます。

また、留守の予定を知られてしまうと、不在の間を狙われますので、特に長期間不在にする場合は、第三者に悟られることがないように配慮して下さい。

ケース②

配達員を装った強盗に、ドアを開けたところを凶器で襲われ、押し入られる。

対策②

訪問者に対して、不用意にドアや門を開けることがないようにして下さい。ドアスコープやチェーンロック等を設置し、ドアを開放しなくとも、訪問者と外の様子を確認出来るようにすることが重要です。また、防犯カメラを設置し、来訪者だけでなく周囲の状況も確認出来るよう対策することもお勧めします。

なお、家は唯一落ち着ける場所ですから、100%の警戒を継続することは、大変困難ですが、例え自身の家の中と言えども、「自分の安全は自分で守る」ことを決して忘れないで下さい。

ケース③

雇用した使用人が、家屋内の金品を盗んだり、強盗や空き巣の手引きをする。

対策③

使用人の採用については、慎重に検討する必要があります。可能な限り信頼のおける人の紹介で身元の確かな人物を採用して下さい。

この種の職業は、貧しい地域の人達が多く、例え本人に盗癖や強盗集団との関係がなくとも、ふとしたことで盗みを働くこともあり、出来心を起こさせないように、現金や貴重品の管理には十分注意して下さい。

また、日本人は使用人を雇うことに不慣れなため、ついつい優しく対応してしまいがちですが、採用後も十分な監督と教育が必要です。逆に現地に精通している使用人は、しっかりと信頼関係を築けば、家庭の安全を守ってくれる大切な一員として、大いに役立ってくれる存在になります。一方で使用人に対し、不信感があれば被害に遭う前に解雇を検討して下さい。ただ、解雇に当たっては逆恨みを買わないよう、十分な配慮、手当を考慮することも必要です。

ポイント

- ① 玄関扉にはドアスコープやチェーンロックを取り付ける
- ② 防犯カメラ等を積極的に設置し、防犯対策に努める。
- ③ 自宅に訪問者が来た場合は、不用意に扉を開けない。
- ④ 帰宅時に鍵が開いている等不審な点があれば、絶対に一人では入らない。
- ⑤ 非常時に助けを求めることが出来るよう、日頃から近隣住民等と良好な人間関係の構築に努める。
- ⑥ 現金や貴重品は目につきにくい場所に保管し、使用人には見られないようにする。
- ⑦ 見ず知らずの人に家族構成や旅行の予定等をむやみに話さない。

(6)被害に遭ってしまった場合

万一、不幸にも強盗等の被害に遭ってしまった場合は、落ち着いて冷静に行動して下さい。抵抗しなければ、身体に危害を加えられたり、最悪の事態を招く可能性が低くなります。

また、被害に遭われた場合は、警察へ連絡すると共に当館へもご連絡下さい。

ポイント

- ① 絶対に抵抗しない。
- ② 相手の指示に素直に従う。
- ③ 相手の顔を見ない。
- ④ 急な動きをしない。
- ⑤ 無理に逃げだそうとしない(誘拐事件)。
- ⑥ 必ず救出されることを信じ、希望を忘れない(誘拐事件)。
- ⑦ 食事をとり体力を維持する(誘拐事件)。

4. 緊急事態対処

(1) 平素の準備

(ア) 「在留届」の提出

「在留届」を必ず提出して下さい。用紙の他、インターネットでの登録が可能です。航空機事故や大規模災害等の発生時の安否確認の際に、「在留届」を基に安否確認を実施しますので、提出がない場合は、確認漏れの原因となります。また、住所変更・転出・帰国の際にも必ず連絡をお願いします。

(イ) 避難場所

緊急事態が発生した場合に備え、事前に避難場所の選定を行って下さい。総領事館も避難場所となりますので、所在地を把握しておいて下さい。

在レシフェ日本国総領事館

住所: Rua Padre Carapuceiro 733, 14 andar EDF: Empresarial Center | Boa Viagem, 51020-280 Recife PE

電話: 81) 3207-0190

(ウ) 緊急時における携行品の整理・非常用物資の備蓄

旅券・現金・クレジットカードや通帳等を予めまとめておき、直ちに持ち出せるように日頃から整理しておいて下さい。

また、緊急事態発生時には、一定期間、自宅で待機することも十分考えられますので、非常用の水・食事・医薬品等は家族全員が最低でも10日間は生活出来る量を準備して下さい。情報を収集するためのラジオ等も準備しておいて下さい(予備の電池も含む)。

(2) 緊急時の行動

流言飛語に惑わされたり、群集心理に煽られることのないように平静を保って下さい。テレビやラジオ、SNSを通じて情報を収集すると共に現地事情に詳しい知人からも情報を入手して下さい。状況によっては総領事館から避難指示等を出すこともあります。

また、皆様が入手された情報も総領事館へ提供して頂くようお願い致します。情報の共有化により、無用な混乱を避けることが出来ます。

(3) 緊急事態に備えてのチェックリスト

(ア) 旅券

旅券については、常時6ヶ月以上の残存有効期間があることを確認しておいて下さい。旅券の最終ページの「所持人記載欄」は漏れなく記載しておいて下さい。下段に血液型

(Blood Type)を記入しておいて下さい。また、当国における外国人登録証明書等もいつでも持ち出せる状態にしておいて下さい。

(イ)現金・貴金属・貯金通帳・クレジットカード等

これらの物は、旅券同様にすぐ持ち出せるよう保管しておいて下さい。現金は、家族全員が10日間生活出来る程度の外貨及び現地通貨を予め用意しておくことをお勧めします。なお、出国する場合の出国税及び空港使用税(これらが必要な場合)の用意も必要です。

(ウ)自動車の整備等

○自動車をお持ちの方は常時整備しておくよう心掛けて下さい。

○燃料は十分にに入れておくようにして下さい。

○車内には、常時、懐中電灯・地図・携帯電話の充電器・ティッシュ等を備え置き下さい。

○自動車をお持ちでない方は、近くに住む自動車をお持ちの方と平素から連絡をとり、必要な場合は同乗出来るように相談しておいて下さい。

(エ)携行品の準備

避難場所への移動を必要とする事態に備え、上記(ア)～(ウ)に加え、次の携行品を備え、すぐに持ち出せるようにしておいて下さい。

○衣類・着替え(長袖・長ズボンが賢明。また行動に便利で、麻・綿等吸収性、耐暑性に富む素材が望ましい。)

○履物(靴底の厚い頑丈なもの。また行動に便利なもの。)

○洗面用具(タオル・歯磨きセット・石けん等)

○医薬品等(家族常備薬の他、常用薬・外傷薬・消毒用石けん・包帯等)

○非常用食料等

しばらく自宅で待機する場合も想定して、米や調味料、水、缶詰等家族全員で10日間程度生活出来る量を準備しておいて下さい。自宅から他の場所へ避難する際には、それらを可能な限り携行するようにして下さい。

○その他

懐中電灯、予備のバッテリー、ライター、ロウソク、マッチ、ナイフ、缶切り、栓抜き、紙製の食器、割り箸、固形燃料、簡単な炊事用具、ラジオ、可能であればヘルメット、防災頭巾

5. 交通事情

(1) 道路事情

経済発展に伴い、自動車やバイクの所有率は年々増加していますが、道路整備は遅れており、レシフェ市では慢性的な渋滞が発生しています。特に通勤・帰宅のピーク時の交通渋滞はブラジル国内で最悪の状況となっています。都市交通アプリケーションによる渋滞データによれば、07:00～10:00と17:00～20:00のピーク時間帯に通常時の77%以上の時間となることが確認されています。この数値は、サンパウロやリオデジャネイロ等の主要都市よりも高い数値となっており、異常なまでの交通渋滞は不要なトラブルの元にもなっています。

道路の状態も良好とは言えず、道路に穴が開いていたり、舗装されていない道路もあったりと日本では想像出来ない箇所もあります。集中豪雨の際は、排水が追いつかず冠水する箇所も沢山あります。水が引いた後は、砂が残り、スリップしやすい状態となりますので注意が必要です。

(2) 運転事情

ブラジル国内は日本とは異なり、右側通行の左ハンドルとなります。運転マナーは非常に悪く、速度超過や信号無視、ウインカーを出さない、歩行者よりも車が優先通行する、バイクがかなりの勢いで停車中の車の横をすり抜けていく等、運転時の不注意による交通事故が多発しています。2012年には、伯地理統計院調査による各州都列における交通事故死者数は、レシフェ市が10万人当たり34.7人と各州都中最悪の記録を有しています。運転をする際には、周囲の状況に十分注意し、防衛運転に徹するよう心掛けて下さい。また、歩行者よりも車が優先される状況ですので、自分自身が徒歩で横断歩道を渡る際は、例え信号機が青であっても、左右をよく確認し渡るように心掛けて下さい。

6. その他

① 主な連絡先

(電話番号冒頭の81はペルナンブコ州のエリアコードです)

- 在レシフェ日本国総領事館
TEL:(81)3207-0190
Rua Padre Carapuceiro733,14andar EDF:Empresarial Center I
Boa Viagem,51020-280 Recife PE

- 警察 190
- 救急 192
- 消防 193

- ツーリストポリス(DELEGACIA DO TURISTA)
TEL:(81)3322-4088、(81)3184-3438、(81)3322-4867---24H

- エスペランサ病院(HOPE ESPERANÇA)(日本語不可)
TEL:(81)3302-2020
Rua Antonio de Freitas,265 Ilha do Leite Recife PE

- ポルトガル病院(REAL HOSPITAL PORTUGUÊS)(日本語不可)
TEL:(81)3416-1122
Av.Agamenon Magalhaes,S/N Ilha do Leite Recife PE

- サンタ・ジョアナ病院(HOSPITAL SANTA JOANA)(日本語不可)
TEL:(81)3216-6666
Av.Joaquim Nabuco,200 Gracas Recife PE

- 空港公団:レシフェ(INFRAERO)
TEL(81)3322-4188

- レシフェ日本文化協会
TEL:(81)3255-0692

② 簡単なポルトガル語集

(1) 簡単なあいさつ

- ① ありがとう(男性) Obrigado. (オブリーガード) ありがとう(女性) Obrigada. (オブリーガータ)
- ② おはよう Bom dia. (ボン ジーア)
- ③ こんにちは Boa tarde. (ボア タルヂ)
- ④ こんばんは又はおやすみ Boa noite. (ボア ノイチ)
- ⑤ はじめまして Muito prazer. (ムイト プラゼール)
- ⑥ さようなら Até logo. (アテ ローゴ)

(2) 緊急時

- ① 助けて! Socorro! (ソコーホ)
- ② 泥棒だ! Ladrão! (ラドラオン)
- ③ 強盗だ! Assalto! (アサウト)
- ④ 誰か手伝って下さい。

Alguem me ajude, por favor. (アウケン メ アジューテ ホル ファホール)

- ⑤ 警察署はどこにありますか?

Onde fica a delegacia? (オンジ フィカ ア テレガシーア)

- ⑥ 警察を呼んで下さい。

Chame a policia, por favor. (シャーメ ア ホリシア ホル ファホール)

- ⑦ パスポートを盗まれました。

O meu passaporte foi roubado. (オ メウ パッサポルチ フォイ ホウバード)

- ⑧ 病院に運んで下さい。

Transporte-me para o hospital, por favor. (トランスポルチメ パラ オ オスピタウ ホル ファホール)

- ⑨ 火事だ! 消防車を呼んで下さい。

Incêndio! Chame o bombeiro. (インセンジオ! シャーメ オ ボンベイロ)

- ⑩ 公衆電話はどこにありますか?

Onde há telefone público? (オンジ ア テレフォニ プブリコ)

- ⑪ 誰か日本語[英語]を話せますか?

Alguem fala japonês[inglês]? (アウケン ファーラ ジャポネース[イングレース])

- ⑫ 総領事館に電話して下さい。

Telefone ao Consulado do Japão, por favor.

(テレフォニ アオ コンスラード ト ジャパオン ホル ファホール)

以上